

井戸端通信

Vol.8

発行
平成 11年3月13日

発行所 〒930-0096

富山市舟橋北町7-1

富山県生涯学習カレッジ内

自遊塾倶楽部広報部

県外からの参加者特集

「情熱は県境をも超えて」

自遊塾の県民教授や塾生の中には、県外から通っている方がいらつしやるのをご存知でしたか。どのような講座への想いや、ご苦労があったのかをうかがってみました。

「世界中のひとと一緒に 囲碁を楽しむ」を終了して

県民教授 水野義嗣（東京都千代田区）
塾生の皆様や情報工房のスタッフをはじめとした関係者の皆様のご協力により、無事講座を終了することができました。

この講座のテーマは、インターネットを活用することにより、時間・場所・世代・言葉・人種を超えて、日本の文化である囲碁を世界中のひとと楽しむ事でした。そのためインターネットに習熟しなくても、簡単な操作で、いつでも誰とでも囲碁を楽しめるようになることを目標にしました。

簡単な説明と実習形式で講座を進めました。が、一ヶ月に二回のペースは受講者にとつて間隔が空きました。かもしれませんが、個人的には、東京から毎回出かけて来ましたが、月一回のペースでの実施が限界であり、インターネットに慣れる時間を確保できなかったことを申し訳なく思っています。

講座以外では、昨秋に開催された「とやまマルメディア祭」において、富山県が主催するインターネット囲碁大会、持杯全国大会に塾生の皆様と参加したり、運営のお手伝いができたことを大変うれしく思っています。

これからも自遊塾の楽しい活動がますます活発になっていくことを願っています。最後になりましたが、県民カレッジの皆様には大変お世話になりました、ありがとうございました。

「この山を知ろう」

名峰剱岳」を受講して

梅本知栄子（埼玉県日高市）

剱岳に焦点を当てた山岳写真撮影したいと願いながらも、富山は遠く、剱岳はさらに遠く感じていた。何か撮影に出かけるきっかけがほしいと思っていたとき、山の先輩から耳よりなニュースがもたらされた。

剱岳に造詣が深く、数々の随筆集を世に出している著者が、自遊塾の講師として登場し、剱岳について語ってくれた。県外人も受講可能ということとをうかがい、こんなに素晴らしい機会を逃してはならないと、とっさに思った。そして、受講申込をし、実際に受講票を得たときは、本当に嬉しかった。

問題となったのは、富山までの高い交通費であった。往復は機動性を考えてマイカーを使用することにし、夜行バスの運賃を基準にして、高速代を調整した。そのために、片道最低八時間かかり、講座の前日の夜八時頃には自宅を出発することにした。

受講中は二時間があっという間に過ぎ、いつも時間が足りないと思った。毎回のテーマの他に、山岳文学論などを淡々とソフトに語りかける口調に引き込まれ、講師の著書「山とスキー大全」の内容を思い浮かべながら受講した。

毎回見せて頂いたスライド写真は、私にとつて最大の楽しみであった。山岳写真家の風見武秀氏が称賛した実力は、すでに二冊の写真集によって証明済みであり、刺激になった。

多くの方々にお世話になりました。受講させていたいただき、そして修了証を手に入れることができた。うれしさと喜びのつばい詰まったこの修了証を大切にしたいと思う。

「楽しく素敵にワインを」

（富山会場）」を受講して

水谷真由美（石川県金沢市）

クリスマス、お正月、さらにはバレンタイン、ホワイトデーと、家庭での小さなイベントがある度に、我が家ではワインを開ける事が多くなりました。これまでは、「ワインに合うお料理も難しいし、だしなあ」ということで、年に数回しか飲みませんでした。が、今では本当に身近なお酒になりました。

お付き合いでワインを飲むことが多くなり、「もっとワインのことが知りたいな」と、この講座に申し込み、幸運にも高い競争率を勝ち抜いて、受講生になることができました。ところが、主人の転勤により、三回目からは金沢から通うことになりました。犬島県民教授のお人柄がよく出た楽しい講義や、おいしいパンとチーズをお供にしたワインの試飲、他の塾生とのおしゃべり等、本当に毎回充実した時間を過ごすことができました。

講座が終わると同時に教室を飛び出して駅まで走り、列車に乗る頃にはワインがよい具合に回って、列車の揺れと一緒にはしゃぎながら帰宅したことも、今では楽しい思い出です。

肩肘を張らない雰囲気の中で、たくさんの方の事を学ぶことができたのは、犬島県民教授や他の塾生の皆様のおかげです。またいつかワインと一緒に会えることを楽しみにしています。

県外人も「さあ、どうぞー」と迎えてくれる自遊塾。これからも期待しています。

今回はご紹介出来ませんでしたが、他にも様々な条件の中、自遊塾に情熱を傾けていらっしゃる方がたくさんおられます。これからもその気持ちを大切に続けていってほしいと思います。



まもなく塾生募集開始!

最終回から来年度に向けて

皆さん! 来年度の塾生募集要項をご覧になり、どの講座を申し込むか、もう決まりましたか。迷ったら、受講生に聞いてみましょう。
お待ちかね、終了講座のアンケート第二弾です。

- A こんな事がすばらしかった
- B ここをもっとこうして欲しかった
- C その他

のご意見を集めてみました。

これから10年、 アクティブ人生企画塾

- A 塾生が自分の言葉で、全員に発表する機会があった。

二〇歳から六〇歳まで幅広く、かつ、ふたん縁がないだろうと思われるような職種の方々と交流がもててよかった。
B 教育文化会館から飛び出す日があってもよかったのではないが。

- 発表時間を十分に設け、みんなの考えを聞くことが出来ると、もっと二人の方を知ることができてよかったと思う。
- C 終了後も交流を続けていきたい。

わかりやすい文章の書き方

- A 文づくりとは「起承転結」。中学生・高校生以来、忘れてしまっていたことを思い出しました。

B 会場は富山市にこだわらず、県東部・西部でも開催してほしい。

- C 参加者が減っていったのが残念でした。基本的なものの書き方など、全然知らなかったことがこの講座でわかってよかった。受講して、書くことが好きになったような気がした。

思い出の曲にまつわる

エピソードをもとめて……
わくわく音楽世界の旅

- A 新しい人たちとの出会いがあり、よかった。

ゆきとどいた資料やティータイムなどで、温かいムードがあり、楽しかった。
C たくさんの人へのこの講座のことを知らせてあげたい。



あなたのおすすめの一曲は何ですか?

「みつけた」 あなたの中の新しい自分

- A いろいろな方の輝いている姿を見られたことがよかった。

C いろいろな人たちとの出会いは、とてもよいことだと思う。

古典落語にみた生活百科考

- A 古典落語の内容と自分を対比して、自分の明日への活力にしたい。また、日

常会話にちよつとした言葉を引用できるようにになった。

- 一口に落語といっても、いろんなジャンルに分けられ、同じ内容でも演者によって、良くも悪くもなるということがわかった。
- B 落語の講座は和室で開いてほしい。また、講師の方通行ではなく、講座のなかで、参加者の発言する機会が欲しい。

- C 落語について、さらに興味がわいた。

落語ワンダーランド

簡単な小断からやつてみよう

- B 会場が遠いと感じた。(小杉町在住)
- C 古典というより現代的にアレンジされた会話の中にも、ダジャレ風の小断ができれば、もっと楽しいと思う。

天文楽のすすめ

- A 初めて天体に接する驚異と感動が新鮮であった。また、若い人たちの交流や楽しさを共有する空間に意義を感じた。
- B 回数が少なく感じた。
- C なかなかお天気に恵まれず、ちよつと残念でした。

小・中・高とよく星空を仰いだものなのに、大人になって寒さと眠たさに負けて星のことを忘れていました。よいきっかけになり、ありがとございました。



天文道楽者達!

この山を知ろう 名峰剱岳

- A 剱を毎日見上げていたが、剱は単なる山ではなかった。いろんな人が剱に戦いを挑み、ルートを開き、それにはいくつもの涙と笑いがあり、その二つが筋書きのないドラマだったと思われる。それらを知ることができてよかった。
- 剱の地元、上市の剱の見える教室で、とても有意義であった。

C 時間があれば、自分の知識を広げるために、他グループの人と話がしたい。先生の人が魅力です。資料は家で読めますが、講義での先生のお話がとてもよく、たくさんスライドとともに楽しむことができました。



後列左端の方が梅本さんです。
(志紙参照) 遠くからご参加をありがとうございました。



ウォーキング冒険塾A

(海拔0mから3,000m)

A 苦しかった分、やりとげた時の充実感があつた。

海から立山までを自分の足で歩き通すことができた、願いがかないました。

C 毎回参加者が多く、若い人も多いので、もつとごんごん輪が広がっていくように、今後もOBとして活動していきたいと思う。

楽しく素敵にワインを(富山会場)

A 時代に合った講座でした。ワインの知識や、実際に飲んで覚えるという仕方がとてもよかったです。また、自分のやりたいことを自由にできたということが最高でした。そして、会場が魚津にあつたというのが何よりでした。

B 回数が少ないと感じた。

新川地区でも、もつといろいろな講座があつてもよいと思う。

C この講座を受けるまで、ワインのことを全く知らなかった。今は自分なりに多少はワインの楽しみ方を覚え、これからはワインを友として、長く楽しみたい。

楽しく素敵にワインを(富山会場)

A 堅苦しくない雰囲気、充実した内容を学べたと思う。おいしいチーズ、パンを味わってワインを知ることができた。

B テイスティングや山藤ブドウ園での実習等、座学だけでなく体験がよかつたと思う。

C 近くに座つた方としか声をかけられる機会がなく、全員の名前を覚えることができず、残念だった。名札をつけられればよかったと思う。

レストランでの実習を織り込んだり、食事とワインとの相性をもつと教えていただきたかった。

C したいに、欠席される方が多くなり、予算等で県民教授もたいへんだったのではないかなと思う。受講者は抽選もれで受講できなかった人がいることを認識すべきである。

予算等で県民教授もたいへんだったのではないかなと思う。受講者は抽選もれで受講できなかった人がいることを認識すべきである。



五箇山の温泉と山野草をたずねて

A 温泉に入る気持で、植物の事柄について勉強できた。

山の自然(山の空気、山野草をはじめ草や木の生命力)に触れ、自分自身が元気になったことがよかつた。

講座の内容以外でも得ることが多くあつた。

B 花の開花時期が早くなつたりして、最盛期が終わつていて、期待はずれになつたこともある。

C 屋外での講座であつたので、不安もあつたが、終わつてみれば楽しい思い出が多く、事故も発生せずよかつた。



自然に触れるには長ぐつは必需品

世界中のひとと一緒
囲碁を楽しもう

A インターネットを勉強したいと思つて、囲碁も改めて始めたいと思つていたので、両方一緒にできることは非常によかつた。

先生の指導のもと、インターネットを通じて一人で囲碁の対局を観戦したり、実際に自分で対局できてよかつた。

C ある程度、囲碁が上達したのではないかなと思う。

仏教伝来の道を尋ね
シルクロードの探求

A 実際に訪ねて来られた講師の話や聞くことができてよかつた。そして素晴らしい夢をみた意欲的な人(県民教授)とお会いできて、私にとつて、今後の人生に影響を与える年だつた。

今まで知らなかつた世界のことを聞き、教えられ、自己研鑽になり、大いに喜んでます。

「シルクロード」と言葉では知っていましたが、映像を見せてもらい、大きさ、広さにびっくりする。どれだけの時間と人手をかけたものか、人間の知恵と力のすごさを見ました。

B もつと回数があつてもよいのではないかなと思う。いろいろな方と出会う機会を大切にしたい。

C 一度訪ねてみたい地域でしたが、中国の食糧事情やその他のことが気になつて行くのをためらつてた。来年は観光でもよいから、西安くらいまで行けたらと思う。



リサイクルで
オリジナル雑貨を作ってみよう

A 講師が素敵で、楽しかった。実用的なものが多く、いつも感心していました。

いつも捨てているような物が、手を加えることで雑貨として生まれ変わることを知り、物を「ミミ」として捨てなくなつた。

身近な材料でかわい小物等をたくさん作る事ができて、とてもよかつた。

C いろいろな人と出会う機会を与えていただきました。



現代川柳入門

A 川柳は長続きして初めて、その面白さがわかってくるものだと思つた。

川柳は自分の日常生活を見直すのによいと思つた。

それぞれの作句したものや互いに添削し、笑いが生まれたとき、皆さんの気持ちがつながつた感じがした。

C もつと皆さんと交流して人生を知りたい。

県民教授の裸の姿(着飾らないそのまの姿)から、作句のコツ・ヒントを教わり、たいへん参考になった。

アンケートにご協力頂きありがとうございます。多数のご感想をお寄せ頂きましたが、スペースの都合上掲載することが出来ませんでした。また、「あなたもジャグリングをやってみませんか」「篠笛の手ほどき」「美との出会い(1)美術館探訪」講座については、アンケートの集計が間に合なかつたために掲載できず、申し訳ありませんでした。



自遊塾倶楽部イベント報告

「ボジョレー・ヌーボーを楽しんで…」

パーティー開催のチラシを初めて見たのは、8月下旬か9月初旬だったと思います。「えらく気の早い話だな」と思っていたのに、いつの間にか11月第3木曜日のボジョレー・ヌーボー解禁日を迎え、倶楽部主催のワインパーティーの日になりました。

パーティーには2種類の樽入りワインが用意され、その樽は1日遅れの解禁日を待ちわびていました。舟崎県民教授の挨拶に続き、乾杯の音頭でいよいよ解禁です。そして、参加者全員が見つめるなか、犬島県民教授の手によってもう一つの樽も開けられ、両方の樽とも解禁になりました。

ワインには、じっくり寝かせて時間をかけておいしくなるものと、あまり寝かせてはいけないものの2種類があり、ボジョレー・ヌーボーは後者にあたるとか。今回の二つのワインは、どちらも渋くなく、甘くなく、そしてあっさりとして口当たりがよく、私好みの味でした。

ワインは、女性がお酌をしてはいけないそうです。男性が気を遣って、お酌をしなくてはならないそうです。「女性がお酌をする習慣があるのは、日本だけではないか？」というお話もありました。

ボトルからではなく、樽から直接注いで飲むという趣向は、パーティーの雰囲気盛り上げ、知らず知らずのうちにグラスを重ねていきました。そして、気がつけば、初めとは違うテーブルで、初めてお会いした違う講座の塾生の方々と歓談に花を咲かせていました。

とても楽しく、「おいしいひととき」を過ごさせていただき、このような企画をしてくださった倶楽部の皆さんに感謝申し上げます。



アクティブ人生企画塾 吉田光恵 記

「頼成の森 落ち葉のじゅうたんをウォーキングしましょ」に参加して

自遊塾倶楽部からの案内には「雨天決行」と記してありました。ウォーキング冒険塾の名のごとく、これまでにどんなに荒天でも中止したことがなく、その例に習っての雨天決行でした。晩秋の勤労感謝の日、降水確率70パーセントの予報でしたが、集合所の「頼成の森」には30余名が集まりました。また、渋谷さん(アクティブ人生企画塾)と青海さん(倶楽部代表)は、都合により参加出来ないにもかかわらず、わざわざお見送りに来てくださいました。

頼成の森のしょうぶ園を抜けて、見晴らしの丘へ。見晴らしの丘では、薄日が差すなか、庄川から砺波平野を一望しました。それから真言宗「千光寺」でお弁当を広げました。千光寺には閻魔堂(えんまどう)がありましたが、閻魔さんの前では参加者全員が正直であったことでしょう。

お腹がふくれてから、「和田川ダム」を目指しました。途中、あぜ道にマムシが出て、みんなびっくり。「まだ、冬眠せずに?」「いや、午前中暖かかったから、顔を出したのでは?」何はともあれ、だれも噛まれなくて、ホッ。

ダムの手前の増山城公園には、七曲りと名づけられた坂があり、疲れた足にはこたえました。中盤まではウォーキング&トーク(おしゃべり)だった一行も、終盤には小雨に濡れて言葉の数もやや減少気味。でも、完歩してからは、「次回は、和田川ダムから増山城公園を周遊しよう」との声もあがり、みな無事元気に解散できました。

ほほえみ講座塾生・ウォーキング冒険塾OB 浅井修平 記

平成11年度「春のときめき講座」運営スタッフ大募集

1月23日(土)、「春のときめき講座」実行委員会発足式が行われました。

飛び入りでの打合せ会参加もOKです。

お気軽にのぞいてみて下さい。

春のときめき講座打合せ会日程

倶楽部定例会 3月13日(土)

全体打合せ会 3月27日(土)

最終全体打合せ会 4月 3日(土)

いずれも午後5時から富山県教育文化会館203号室で行います。

なお、「春のときめき講座」の詳細については、同封のチラシをご覧ください。

平成11年度 自遊塾倶楽部会議(第1回目)

5月22日(土) 午後3:00から

富山県教育文化会館 403号室

6月以降の定例会は毎月第2土曜日

午後5時から行います。

お問い合わせ、お申し込み等は県民力レッジ

自遊塾事務担当 福澤まで

〒930-0096 富山市舟橋北町7-1

TEL 0764-41-8635(内線223)

FAX 0764-41-6157

編集後記

とうとう今年度最後の井戸端通信となりました。振り返ってみますと、井戸端通信はみなさんのアンケートや原稿で成り立っているといっても過言ではありません。しかし、スペースの都合で掲載することが出来なかったものもあり、とても申し訳なく思っています。皆さんからのアンケートを拝見しておりますと、自遊塾への想いが伝わってきて、ずいぶん元気づけられました。

最後になりましたが、本当にたくさんの方の力で無事今年度の発行を終えることができ、ありがとうございました。これからも皆さんの手でつくる井戸端通信をどうぞよろしくお願い致します。

自遊塾倶楽部広報部一同